

9月のテーマ

トリアージと搬送訓練**日時：9月16（日） 9：00～11：00****場所： 下戸塚町会会館 町会会員なら誰でも参加できます**

1995(平成7)年に兵庫県南部地震が起きてから、20年以上が経ちました。当時被災者たちをがれきの中から救い出したのは誰だったでしょうか。「生き埋めや閉じ込められた際の救助を誰がしてくれたか」というアンケートをとった結果は、自力:35%、家族:32%、隣人・友人28%。合計すると約95%が自分と身の回りの人であることが分かります。この大災害がきっかけとなって、全国各地に自主防災活動が広がっていきました。大災害時に、自分と大事な家族の命を救うのは私たち住民自身です。いざという時に備えて、自分たちの手で自分たちの命、地域を守るための知識と技術を身につけましょう。

私たちが、日常生活の中で交通事故で死ぬ確率(0.003%)よりもはるかに高い確率(30年以内に70%)で近づいている地震は、兵庫県南部地震や熊本地震を起こしたのと同じ、直下型の地震です。

※筆記用具をご持参ください。

《防災の基本は、「実行」と「実効」です》

※ 自主防災部の活動日は、毎月の第3日曜日です。

前回の活動報告

7月15日(日)は、20××年の11月10日(日)に綾瀬川断層が動いたという想定で、戸塚中学校に避難所が開設された後の運営会議を想定した訓練でした。訓練では、戸塚中学校のマニュアルに従って、庶務部、物資部、救護衛生部、施設管理部などの各役割分担を確認し、それぞれの部からどのような報告がなされるのか、模倣的に想定したシナリオを読み上げるという内容でした。

